

**第39回少年の主張全国大会  
新潟県代表の平澤幸芽さんが  
内閣総理大臣賞を受賞しました**

11月12日(日)に、国立オリンピック記念青少年総合センターで「第39回少年の主張全国大会」が開催され、新潟県代表として出場した新潟県立燕中等教育学校2年・平澤幸芽(ひらさわこうめ)さんが内閣総理大臣賞を受賞しました。

今年度の「少年の主張」には、全国の中学生約54万人が参加しました。平澤さんは「平成29年度わたしの主張新潟県大会」で最優秀賞を受賞し、新潟県代表として関東・甲信越静岡ブロック審査会に進み、代表3人のうちの1人として選出され、全国大会に出場しました。

平澤さんは、「仲間を守る一言」というテーマで発表しました。周りに同調し理由なく級友を無視したことに、自己嫌悪に陥っていたあるとき、自分を変える一言に出会ったことから、勇気を出し周囲に「もう、やめよ」と言い、そして全員で級友に謝罪しました。この経験といじめによる中学生の自殺の報道から、いじめには周囲の態度にも責任があると思ひ至り、自分の意見をきちんと表明する一言が仲間を守る一言になることを、力強く訴えました。

本県の内閣総理大臣賞受賞は、第2回(昭和55年)以来、2回目です。

本件についてのお問い合わせ先  
児童家庭課青少年育成係長 諸本  
電話：025-280-5214 内線：2511